

追悼

山田英司先生を偲んで

福井 勉 (文京学院大学)

いつもまっすぐに前を向いて走っている、というのが山田英司先生の常にある姿でした。エネルギーのまま生涯を全うした人生だったと言えます。

山田先生は愛媛に生まれ、人生の多くの時間を瀬戸内海に面した場所で過ごされてきました。香川大学医学部附属病院でさまざまな疾患に対処し興味を深め、その傍ら、研究活動にも非常に熱心で博士号を取得されるとともに、常に研究の重要性を説き、さらに専門誌への投稿を繰り返してられました。回生病院時代には今までにない圧巻の症例数の変形性膝関節症症例の動作分析をされておられました。2012年に自著を発刊されたときには、両親によい報告できると喜んでいたことが昨日のこのように思い出されます。

山田先生は面倒見がよく、若い理学療法士へさまざまな啓発を行い、香川県で勉強会も立ち上げられ日本中の理学療法士と交流を続け、常に影響を与えてられました。優しく熱心に後輩指導をされていた話を多くの方々からお聞きます。真に生涯現役の臨床家であるとともに、研究者、教育者であったと思います。運動器疾患の発展にも尽力を注ぎ、第7回日本運動器理学療法学会学術大会長を務められたのはつい最近のことでしたし、そして最後まで同学会の評議員を務められていました。一方で臨床家にありがちな、やや視野の狭いアイデアには疑問を呈する姿も印象的でした。変形性膝関節症に関しては特に情熱を注がれ、エビデンスの重要性とともにご自身の臨床観を大切にされた姿が本当に印象的でした。

香川では一緒に何軒もうどん屋を巡り、地元愛も並大抵ではないのを感じました。山田先生の魅力は大切なことを考える感性を与えてくださることだっ



(ご略歴)

- 1970年 12月12日 愛媛県生まれ
- 1993年 国立善通寺病院附属リハビリテーション学院卒業
- 1993年 石川県立中央病院
- 1998年 香川医科大学附属病院 (現 香川大学医学部附属病院)
- 2007年 香川医科大学 (現 香川大学) 大学院にて博士号 (医学) 取得
- 2011年 徳島文理大学保健福祉学部准教授
- 2014年 総合病院回生病院関節外科センター附属理学療法部部長
- 2018年 岡山医療専門職大学設置準備室
- 2020年 岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科教授
- 2021年 仙台青葉学院短期大学教授
- 2021年 9月29日逝去 (享年52)
- 1999年 第11回理学療法ジャーナル賞 準入賞
- 2003年 第15回理学療法ジャーナル賞 準入賞
- 2016年 本誌編集委員就任

著書：人工膝関節全置換術の理学療法—明日の臨床を変える Art & Science (編集, 文光堂, 2018), エキスパート理学療法1 バイオメカニクスと動作分析 (編集, ヒューマン・プレス, 2016), 極める変形性膝関節症の理学療法—保存的および術後理学療法の評価とそのアプローチ (編集, 文光堂, 2014), 〈理学療法士列伝—EBMの確立に向けて〉山田英司 変形性膝関節症に対する保存的治療戦略 (単著, 三輪書店, 2012) など多数

たと思います。その愛情とともに、影響を受けた多くの教え子たちが、今後大輪の花を咲かせてくれることでしょう。走り続けてこられた山田先生に、今は感謝の気持ちでいっぱいです。人を大切にされてこられたお姿は今後も忘れないつもりです。ずっと走り続けた人生でしたので、少しお休みいただき今後は天国から、ご家族と理学療法士界を見守ってください。先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。